

平成 30 年 6 月 14 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15H03258

研究課題名(和文) 中世ヨーロッパ世界における統治理念と社会制度の比較史的統合の研究

研究課題名(英文) The Comparative Study of Political Ideology and Social System in Medieval Europe

研究代表者

河原 温 (Kawahara, Atsushi)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号：70186120

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究プロジェクトでは、中世ヨーロッパ諸国(イングランド、フランス、ドイツ、ネーデルラント、チェコ等)と都市を対象に、それぞれの統治理念とそれに対応する社会制度の具体的展開との突合せを通じて、中世ヨーロッパ世界の統合的理解を得ることを目指した。13名の共同研究者により、それぞれの地域(国家)における世俗国家とカトリック教会の支配理念及び、王国と都市という中世ヨーロッパ社会を構成した中心的な組織の在り方を比較史的に検討した。その結果、それらの統治理念とそれぞれの社会制度の現実を統一的に理解することが一定程度可能となったと考えられる。

研究成果の概要(英文)：This research project was intended to make clear the medieval European world through the viewpoints of analyzing the political ideology(royal power, papal authority) and social system (kingdom, empire, cities, etc.). Thirteen researchers analyzed each area (kingdom and cities), and showed the difference and uniqueness of each area through the comparative historical approach. As a result we could show some specific character of each kingdom(empire) and cities by the ideological and institutional analysis. This result will surely contribute to understand the reality of the medieval European World.

研究分野：中世ヨーロッパ史

キーワード：王権 都市 統治理念 社会制度 統合モデル

1. 研究開始当初の背景

1980年代以降の中世ヨーロッパ研究において、中世国家を論じる視点が多様化してきた。近代国家との関係では、その起源を中世の諸王国の統治制度に求める立場や、近代のナショナリズムの形成の起源を中世のエスニックな共同体に見出す研究等が見られるが、いずれも近代国民国家のフィクション性が指摘されることにより、その研究の方向性は修正を余儀なくされてきた。他方、中世国家を近代国家とは異質な存在としてとらえ、両者の対比の中から中世国家の特質を解明するアプローチが見直されつつある。しかし、伝統的諸研究では、理論が先行し、歴史の実態との乖離が認識されてきた点に鑑み、近年、個別の王国や諸地域の統治や社会制度の実証的研究を比較史的に検討、統合することの重要性が意識されつつある。本プロジェクトはそうした研究状況を踏まえ、13名の研究者によるそれぞれの王国や都市における統治理念と社会制度を実証的に分析し、中世ヨーロッパ各地の具体的な社会制度の現実を統合的、統一的に理解することを目指すこととした。

2. 研究の目的

本研究プロジェクトでは、中世ヨーロッパ諸国と都市を対象に、統治理念の究明と、それに対応する社会制度の具体相との突き合わせを通して、中世ヨーロッパ世界の統合的理解を得ることを主たる目的とした。統治理念については、王権と教会の果たした役割の実証的分析が目指される。社会制度としては、王国と都市を主たる分析の対象とする。王国については、それぞれの統治の具体的諸側面（行財政、法制、軍事等）の分析が、また、都市については、その自治、経済、宗教の諸制度や政治文化の分析が主たる課題となる。こうしたアプローチにより、従来の日本の中世ヨーロッパ史研究に欠けていたと思われる、西欧中世社会の実態を総合的に理解するモデルを提供することを目指す試みである。

3. 研究の方法

上記の研究課題を達成するために、本プロジェクトでは、のべ14名(連携研究者1名を含む)の中世ヨーロッパ史研究者を4つの研究班(国家班、教会班、王国班、都市班)に組織し、メンバー各自の研究対象であるヨーロッパの国・地域ごとに、分担する研究テーマに関する先行研究と史料を調査、収集し、3年間の研究期間全体を通じて、各年4回程度の研究会を開催し、研究報告と共同討議の場とした。さらに、3年目には、ドイツから専門研究者(J.デンドルファー、フライブルク大学教授)を招請して講演会とセミナーを開催し、当該研究課題を中心に、有用な質疑を行うこととした。

4. 研究成果

主な研究成果は、以下のとおりである。

- (1) 統治理念・国家班では、中世ドイツ王国および神聖ローマ帝国、フランス王国、ビザンツ帝国について、王国理念と帝国理念の概念史的検討と国家アイデンティティの構築プロセスについて年代記や証書史料に基づく分析を行い、担当メンバーにより数篇の論文が発表された。
- (2) 統治理念・教会班では、教皇権とビザンツ皇帝権により形成された統治理念の比較的分析が行われ、担当メンバーにより関連する数篇の論文が発表された。
- (3) 社会制度・王国班においては、イングランド、フランス、チェコ、神聖ローマ、北欧等を対象に、三部会の形成過程や仲裁制度に基づく合意形成、王国統治組織の整備等が実証的に分析された。担当メンバーにより数篇の論文が発表された。
- (4) 社会制度・都市班においては、ネーデルラントと南フランス地域を主たる対象として、君主(王権、諸侯)権力と都市の諸関係の実証的、比較的分析がなされた。担当メンバーにより数篇の論文が発表された。
- (5) 中世ヨーロッパの統治理念の基盤をなす「封建制」概念について、ドイツから招請した専門研究者(J.デンドルファー、フライブルク大学教授)によるセミナーを3年目(2017年9月)に開催し、学際的な議論を行って、本研究課題に関するメンバー各自の認識を深化させることができた。デンドルファー教授によるドイツ語の講演2編は、翻訳刊行されている(『青山史学』36、2018年3月)。

5. 主な発表論文

【雑誌論文】 (計21件)

河原温、中近世ヨーロッパの慈善と救貧 - ブルッへの聖霊ターフェルの活動を中心に -、史学(慶応大)、査読無、87 - 3、2018、121 - 140。

鈴木道也、中世の政治文化をめぐって - 中世フランス政治史研究の現状 -、東洋大学文学部紀要、査読無、71、2018
甚野尚志、朝河貫一の西洋中世史の研究と教育活動 - イェール大学所蔵『朝河貫一文書(Asakawa Papers)の分析から -、早稲田大学文学研究科紀要、査読無、63、2018、559 - 582。

甚野尚志、歴史家・朝河貫一への旅(一) - イェール大学院時代について、Margaret Dimond 宛書簡から -、エクスフランス ヨーロッパ文化研究 - (早稲田大学ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所)、査読無、8、2018、1 - 13。

北野かほる、書評論文、深尾裕造・松本和洋『翻訳クック「マグナ・カルタ註解」: サー・エドワード・クック『イングランド法学提要 第2部より』(『法と政治』66 - 4)・深尾祐造「クック「マグナ・カルタ註解覚書」(『法と政治』

67 - 1)、法制史研究、査読無、66、2018(掲載頁未定)。
菊地重仁、編・監訳、ユルゲン・デンドルファー教授講演録：盛期中世ヨーロッパにおける政治文化、青山史学、査読無、36、2018、23 - 80。
河原温、中近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションを考える、西洋史学、査読有、263号、2017、49 - 57。
甚野尚志、朝河貫一の戦後の日記(1945 - 48年)を読む、朝河貫一研究会ニュース、査読無、90、2017、2 - 10。
Michiya Suzuki, Vincent de Beauvais and Alexander the Great, *Proceedings of the 8th International Conference on the Medieval Chronicle*, 査読無、2017、34-39。
鈴木道也、中世の百科全書とフランス王権、東洋大学文学部紀要、査読無、70、2017、192 - 160。
Taku Minagawa, Der Kapuziner Marco d'Aviano und seine Reichspolitik des Kaisers Leopold I, *Annali de l'Istituto Storico Italo-Germanico*, 43/2 査読無、2017、79 - 108。
渡辺節夫、国際関係の中でのシャンパーニュ伯とフランス中世王権 - 1180 頃 - 1270 年頃、朝治他編、『<帝国>で読み解く中世ヨーロッパ』、ミネルヴァ書房、査読無、2017、294 - 317。
河原温、中世ブルッヘ史研究序 II、人文学報(首都大学東京)、査読無、512 - 9、2016、1 - 25。
Makoto Kato, Note sur la seconde moitié de la carrière de Jean de Grailly: de Saint-Jean d'Acre au comtat (1289-1297), *Annales du Midi*, 128(294), 査読有、2016、281-287。
Koichi Horikoshi, Les légumes dans les cuisines française et méditerranéenne au Moyen Age et à la Renaissance, *The 9th Korean - Japanese Symposium on Medieval History of Europe*, 査読無、2016、191 - 203。
鈴木道也、古典再読 マルク=ブロック『封建社会』、西洋史学、査読有、261、2016、73 - 77。
大月康弘、ビザンツ帝国とオイコノミアの表象、国立新美術館研究紀要、査読無、3、2016、146 - 159。
鈴木道也、中世後期フランスにおける歴史記述の俗語化について、東洋大学文学部紀要、査読無、68、2015、153 - 180。
大月康弘、蘇る「ヨーロッパ」の記憶 活発化するヨーロッパの史学、学際、査読無、第3期 zero号、2015、51 - 58。

渡辺節夫、フランス中世王権の拡大過程と諸侯権力(1152 - 1270) - シャンパーニュ伯関係史料の公刊と註解 - [3]、青山史学、査読無、33、2015。

- ② 小澤実、Why did Swein raise a rune stone in memory of Skarde? a contribution to the reconstruction of the Jelling dynasty's commemoration strategy, M.Ozawa et O.Kano et Jean-Loup Lemaitre(eds.), *Entre texte et histoire. Études d'histoire médiévale offerts au Prof. Shoichi Sato*, Paris, Ed. de Boccard, 2015, 265-273.

[学会発表] (計 16 件)

大月康弘、Byzantin Emperor's concept of the World: On Constantine VII's De Administrando imperio, *International Workshop "The Mediterranean as a Piazza"*, co-org. by Univ. of Urbino Carlo Bo and the Mediterranean Studies Group(Tokyo), in *Hitotsubashi Univ.* 22-23 March, 2018.

Koichi Horikoshi, Elements d'histoire comparée de la culture militaire médiévale entre l'Occident et le Japon, *Colloque du Ménestrel*, Nara, 19 Nov. 2017.

鈴木道也、中世ヨーロッパの自然観 13世紀の百科全書から - 国際哲学センター研究会、上智大学、2017。

小澤実、ヴァイキング船と船舶共同体、バイユー綴織(タペストリ)の世界、九州西洋史学会(熊本大学)、2017。

Michiya SUZUKI, Vincent de Beauvais and Alexander the Great, *The 8th Inter-national Conference on the Medieval Chronicle*, Univ. of Lisbon, 12 July, 2017.

甚野尚志、日本の近代歴史学と概念化の問題 「封建制」概念をめくって - 第9回東アジア人文学フォーラム「東アジアにおける人文学の興隆 (Reconstruction of the Humanities in East Asia)」、早稲田大学、2017。

小澤実、差異化のモニュメント：デンマークのキリスト教化とイエリング王権、REN研究会、青山学院大学、2017。

河原温、中近世ヨーロッパ都市の慈善と救貧、三田史学会、2016。

堀越宏一、中世フランスにおける石造と木造の町家 1階開口部による類型論の試み - 青山学院大学、2016。

Koichi Horikoshi, Les légumes dans les cuisines française et méditerranéenne au Moyen Age et à la Renaissance, *The 9th Korean-Japanese Symposium on Medieval History of Europe*. May, 2016.

薩摩秀登、国の始まり：中世チェコ国家誕生に関して、第1回ボヘミア・フォーラム、東京大学、2016。

小澤実、海域世界としてのヨーロッパ、バルト・スカンディナヴィア研究会、早稲田大学、2016。

加藤玄、13世紀英仏独関係史におけるサヴォワ人—ジャン・ド・グライの遍歴を中心に—、日仏歴史学会、第6回研究大会、2016。

堀越宏一、中世フランスの都市家屋、西欧中世史研究会春季研究会、富山大学、2015。

鈴木道也、前近代の歴史意識とナショナル・アイデンティティ：フランスと日本の比較、日仏文化思想学会、ストラスブール大学、2015。

薩摩秀登、学会で結ばれた人たち 初期近世の人文主義者たちと東欧諸国、東欧史研究会大会、2015。

[図書] (計 13 件)

河原温、堀越宏一、図説中世ヨーロッパの暮らし(韓国語版)、AK Trivia Book 43, Seoul, 2017。

加藤玄(共著)、木村靖二・岸本美緒・小松久男編、詳説世界史研究、山川出版社、2017、(171 - 192)

小澤実編、近代日本の偽史言説 歴史語りのインテレクチュアル・ヒストリー、勉誠出版、2017、392頁。

加藤玄(共著)、朝治啓三・渡辺節夫・加藤玄編著、<帝国>で読み解く中世ヨーロッパ、ミネルヴァ書房、2017、350頁(147 - 160)。

三佐川亮宏、コルヴァイのヴィドゥキント(三佐川訳)、ザクセン人の事績、知泉書館、2017、318頁。

河原温(共著)、ブルゴーニュ公国史研究会著(藤井美男編)、ブルゴーニュ国家の形成と変容 権力・制度・文化、九州大学出版会、2016、369頁(267 - 301)。

河原温、M・ボネ著(河原監訳)、中世ヨーロッパの都市と国家 ブルゴーニュ時代のネーデルラント、山川出版社、2016、150頁。

加藤玄(共著)、大学の歴史教育を考える 会編、わかる・身につく歴史学の学び方、大槻書店、2016。

三佐川亮宏(単著)、ドイツ その起源と前史、創文社、2016、326頁。

三佐川亮宏(共著)、森井裕一編、ドイツの歴史を知るための50章、明石書店、2016(74 - 84)。

小澤実・長縄宣博編、北西ユーラシアの歴史空間 前近代ロシアと周辺世界、北海道大学出版会、2016、336頁。

大月康弘(単著)、ヨーロッパ 時空の交差点、創文社、2015、240頁。

加藤玄(共著)、近藤和彦編、ヨーロッパ

史講義、山川出版社、2015(55 - 73)。

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：
取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

6. 研究組織

(1) 研究代表者

河原 温(KAWAHARA Atsushi)
首都大学東京・人文科学研究科・教授
研究者番号：70186120

(2) 研究分担者

- 加藤 玄(KATO Makoto)
日本女子大学・文学部・准教授
研究者番号：0043183
- 三佐川 亮宏(MISAGAWA Akihiro)
東海大学・文学部・教授
研究者番号：20239213
- 堀越 宏一(HORIKOSHI Koichi)
早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授
研究者番号：20255194
- 土浪 博(TONAMI Hiroshi)
関東学院大学・法学部・准教授
研究者番号：20277924
- 鈴木 道也(SUZUKI Michiya)
東洋大学・文学部・教授
研究者番号：50292636
- 薩摩 秀登(SATSUMA Hideto)
明治大学・経営学部・教授
研究者番号：70211274
- 大月 康弘(OTSUKI Yasuhiro)
一橋大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：70223873
- 北野 かほる(KITANO Kaoru)
駒澤大学・法学部・教授
研究者番号：90153105
- 甚野 尚志(JINNO Takashi)
早稲田大学・文学学術院・教授
研究者番号：90162825
- 皆川 卓(MINAGAWA Taku)
山梨大学・総合研究部・教授
研究者番号：90456492
- 小澤 実(OZAWA Minoru)
立教大学・文学部・准教授

研究者番号：90467259
12 菊地 重仁 (KIKUCHI Shigeto)
青山学院大学・文学部・准教授
研究者番号：80712562

(3) 連携研究者 渡辺 節夫 (Watanabe
Setsuo)
青山学院大学・文学部・名誉教授
研究者番号：70036060

(4) 研究協力者
なし